

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 29 年 4 月 27 日 (2017.4.27)

【公開番号】特開 2015-159943 (P2015-159943A)
 【公開日】平成 27 年 9 月 7 日 (2015.9.7)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-056
 【出願番号】特願 2014-36558 (P2014-36558)
 【国際特許分類】

A 6 1 G 7/05 (2006.01)

A 4 7 C 21/08 (2006.01)

A 6 1 G 1/04 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 G 7/04

A 4 7 C 21/08 A

A 6 1 G 1/04

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 2 月 22 日 (2017.2.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 3 1 】

一方、図 8 は、連動アーム 7 と連動リンク 8 の連結において、連動アーム 7 側には長穴を設けずに、連動リンク 8 側の軸部材 10 に対して、いずれの方向にも遊びが生じない正円穴 11 を設けている場合に生じる可能性がある格納状態の不都合の一例を示すものである。この例では、加工精度や組み立て精度の関係で、各連動アーム 7 と連動リンク 8 の回動支点の位置が平行四辺形からずれていることにより、格納状態において、上部横棧部材 1 u l 側のリンク構造と上部横棧部材 1 u r 側のリンク構造の形状にずれが生じると、支柱部材 2 の上端に設けた支点部材 4 の当接部材 5 と、夫々の当接部材 5 が当接する隣接の支柱部材 2 とが同時に接触せずに、当接部材 5 と隣接の支柱部材 2 との間に隙間 S が生じる場合がある。